

# 季節と生き物（冬）

## 1 単元の概要

私たちの身の回りの自然を観察すると、四季折々それぞれの季節に応じた動物の活動や植物の成長を見ることができます。校庭や学校の周辺を観察するだけでもたくさんの動植物に出会うことができるでしょう。そして、四季ごとに動植物を探し、それらを育てたり観察を継続的に続けたりすることによって、子どもたちは動物の活動や植物の成長は季節によって違いがあるということをとらえるようになります。また、生物を愛護する態度を育てることができます。

「冬」は「秋」からさらに気温が低くなる冬の動物や植物の様子を調べ、冬の特徴を捉えると同時に、年間を通して調べてきたことをもとに、生き物の活動や成長のようすと環境とのかかわりをまとめることができます。

## 2 学習のねらいと手だて

- 一年間を通して同地点で同一の対象を定期的に観察してきた動植物の成長や活動の変化をまとめることができるようにする。
- 動物の活動や植物の成長について観察したことを絵図や表、グラフなどに整理して記録し、季節ごとの動物の活動や植物の様子の変化をとらえたり、気温の変化と関係付けたりすることができるようにする。



自然学習園

## 3 指導計画（総時数7時間）

学習活動と内容	○指導・支援上の留意点 ◆展示物など	時間
I ツルレイシの様子を調べる。 枯れてしまった根の様子	○ ツルレイシの根を掘り起こして、根も枯れていることを確認できるようにする。	1時間
II 冬の校庭や身近な場所の植物の様子を調べる。(サクラなど枯れないで冬を越す植物)	○ 葉を落とし枯れているように見えても、新しい芽をつけて生き続けている植物を観察することができるようにする。	1時間
III 冬の動物の活動の様子を調べる。	○ 秋に比べて動物の種類や数が減少していること、活動の変化やそれぞれの動物に冬越しの仕方に気づくようにする。	1時間
IV 一年間の動植物の成長や活動の変化をまとめる。	○ 一年間観察してきたことをまとめる際、視聴覚機器などを活用して振り返り工夫してまとめることができるようにする。	2時間
V まとめたことを博物館の展示物や自然学習園のコーナーで確かめる。 ① 季節の変化による植物や動物の様子を確かめよう。 ② 自然学習園を観察し、姿を変えていく植物の様子をまとめよう。	博物館での学習 ◆ 平尾台や山田緑地の自然展示コーナーや平尾台の四季のビデオを視聴した後、自然学習園の動植物を観察する。	2時間

## 4 学習展開例（2時間扱い）

学習活動	○指導・支援上の留意点	◆展示物など
<b>1 季節の変化による植物や動物の様子を確かめよう。</b>		
I 北九州の自然(平尾台)のコーナーを観察する。	○ 平尾台に行ったときの経験などを出し合い、四季折々でいろいろな植物が育っていることに気づくことができるようにする。	博物館での学習 1時間  ◆自然発見館 ・「平尾台の四季」のビデオ ・「北九州の草原」平尾台
II 「平尾台の四季」のビデオを視聴する。	○ ビデオは10名程度しか見ることができないので、各コーナーを観察するグループと順番を決めておくようにする。	・「北九州の林」 ・鳥や虫の音コーナー
III 山田緑地や虫の音コーナーなど興味のあるコーナーを観察する。	○ 平尾台のコーナーが詳しく説明されているが、山田緑地などにも行った経験があることが予想される。そこで、植物や動物に関するコーナーの見学を事前に計画しておくようにする。	
<b>2 自然学習園を観察し、姿を変えていく植物の様子をまとめよう。</b>		
I 「北九州市の林」や「北九州市の草原」で冬探しをする。	○ 学校で学習したことや展示物コーナーで見たことと結び付けて観察していくように声かけする。 ○ 昆虫にも目を向けていくように声かけする。	博物館での学習 1時間  ◆自然学習園 ・「北九州の草原」 ・「北九州の林」
II 枯れた植物と枯れたように見えても新しい芽をつけて、生き続けている植物を比較する。	○ 葉を落として枯れているように見えるサクラと種子を残して枯死するツルレイシ等を対比的に取り上げることで、生命の不思議さや素晴らしさを感じることができるようにする。	
III 自然学習園についての話を聞き、まとめを行う。	○ 自然学習園の季節による変化の話をして学習のまとめとする。(MTの話が聞きたい場合は、事前に連絡が必要。)	◆資料 「自然学習園」

5 博物館での学習

1 季節の変化による植物や動物の様子を確かめよう。

博物館での学習  
1時間

自然発見館には平尾台の自然を展示したコーナーがあり、「平尾台の四季」のビデオは春夏秋冬と変わりゆく植物や動物の様子を4分間で詳しくまとめています。このコーナーを活用することで、平尾台の一年間を通して植物や鳥、昆虫などがどのような姿を見せてくれているのかを知ることができます。また隣接している山田緑地の自然コーナーでは、北九州の林の様子を学ぶことができます。その他、鳥や虫の音を聞くコーナーもあり、児童にとって興味をそそられる展示がされています。



平尾台展示コーナー



平尾台ビデオコーナー

2 自然学習園を観察し、姿を変えていく植物の様子をまとめよう。

博物館での学習  
1時間

展示コーナーを見学した後、「自然学習園」で実際の自然に学ぶ時間を設けます。ここは身近な林に生育する代表的な樹木が観察できる「北九州の林」、人手を加えることで維持されている草原の植物を植栽した「北九州の草原」の観察をすることができます。ここに生えている植物の種子がどこからやってきたのか、春、この場所はどのように変化していくのか考えさせることで、1年間の植物の成長や自然の営みをとらえさせることができます。



「北九州の草原」ゾーン



「北九州の林」ゾーン

1 「自然発見館」を見学して答えましょう。

「平尾台の四季」のビデオを見て、それぞれの季節に見られる動物や植物の様子をまとめましょう。

	春	夏	秋	冬
動物	ヒバリ、キジ ホオジロ、セッカ ホオアカ	キチョウ アゲハチョウ	ツユムシ セグロバツタ オオカマキリ	オオカマキリの 卵のう ナナホシテントウ
植物	ツチグリ タカサゴソウ オキナグサ ヒトリシズカ	キキョウ コオニユリ カワラナデシコ ノヒメユリ	ススキ、リンドウ ハバヤマボクチ ムラサキセンブリ ウメバチソウ	

自然発見館のどこのコーナーでどのような発見をしたかまとめましょう。

2 「自然学習園」をかんさつして答えましょう。

自然学習園で冬さがしをしよう。

①葉が散っている木をさがしましょう。 (名前プレートが付いている木からさがしましょう。)	②木の芽をさがしてスケッチしましょう。
③ススキはどんな様子でしょうか。	④他にも見つけたことを書きましょう。

春に自然学習園の植物は、どのようになっていると思いますか。思ったことを書いてみましょう。